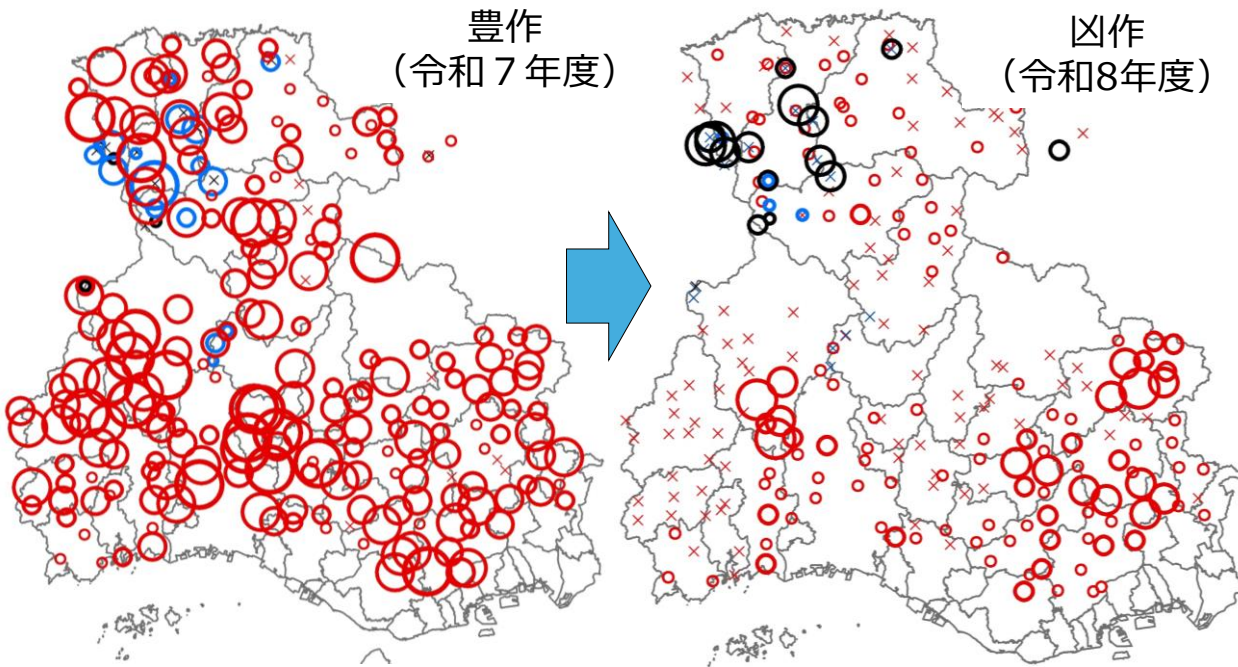




【凡例（豊凶指数）】

コナラ	ミズナラ	ブナ		
×	×	×	0	ほぼ全く結実がない
○	○	○	0.1-0.6	ほとんどの木で、少量以下の結実
○	○	○	0.7-1.2	多くの木で、並みの結実
○	○	○	1.3-1.8	一部の木で大量の結実
○	○	○	1.9-2.4	半数以上の木で大量の結実
○	○	○	2.5-3.0	ほぼ全ての木で大量の結実

【過去5ケ年の豊凶判定】

	樹 種	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
豊凶区分	ブナ	大凶	大凶	大凶	大凶	豊
	コナラ	並上	並上	凶	大豊	大凶
	ミズナラ	並上	大凶	大凶	豊	大凶
	3種総合	並上	並下	大凶	豊	凶

【豊凶区分：大豊作・豊作・並作上・並作下・凶作・大凶作】

【調査方法と結果】

- ・観測地点数：252地点（コナラ：217地点（県全域の低標高帯）、ミズナラ：20地点、ブナ：16地点（主に県北部の高標高帯））
- ・調査期間：令和8年8月28日～9月6日
- ・調査方法：各観測地点で調査木10本を設定し、各調査木の豊凶度を4段階(0,1,2,3)で判定し、その平均値から豊凶指数を決定。
- ・調査結果：全県的にドングリ類は実りが少なくなる見通し



<出沒予測> 豊作年だった昨年度に比べ、ツキノワグマの出沒は多くなる可能性が高い